

脊椎動物の時計遺伝子

海老原史樹文・吉村崇・鈴木亨
名古屋大学農学部 資源生物環境学科
動物機能制御学講座

はじめに

高等動物のうち、遺伝学研究が最も進んでいる種は、マウスである。マウスにはさまざまな遺伝特性を持つ近交系やミュータント系が多数存在し、長年の遺伝学的データの蓄積に加え、取り扱い易さや比較的世代交代が早いことから、遺伝解析に最も適した哺乳動物として利用されている。特に最近では、マイクロサテライトなど DNA 多型マーカーが充実するなど連鎖解析技術の進歩に加え、YAC ライブラリーなどの開発による物理的地図作成技術の進歩、さらに、長年に渡る膨大な遺伝学データが蓄積し、インターネットを介して瞬時にデータ検索できる情報科学の進歩などにより、ますますマウスの重要性が増してきている。したがって、概日リズムに関する遺伝学研究もマウスを用いたものが多い。マウス以外の哺乳類ではハムスターやラットを用いた研究があるが、これらについては、マウスほど十分な遺伝学データの蓄積がないため解析が進んでいない。しかし、最近新しいマッピング解析技術として RLGS (restriction landmark genome scanning)法が開発され、ハムスターでもリンケージマップが作成されたことから(1)、今後これらの動物でも時計遺伝子の解析が可能となってゆくだらう。哺乳類以外の脊椎動物で注目すべきは、ゼブラフィッシュやメダカなどの魚類であろう。これらの魚は、体が小さいため飼育スペースを取らず、世代交代が速いうえ、大量に子孫を得ることができるので、突然変異誘発物質による時計遺伝子の分離も効率に行えるものと期待できる。しかし、問題はリズムの測定に関することで、遊

泳行動ではそれほど明瞭なリズムが得られない。米国でゼブラフィッシュを用いた時計遺伝子の分離が計画されているが、この点の克服が成功への分かれ道である。

時計遺伝子は、ショウジョウバエの *per* や *timeless*、アカバシカビの *freq* など振動の発現に直接組み込まれていると考えられる遺伝子であるが、脊椎動物でこれに該当する遺伝子は見つかっていない。しかし、概日リズムに影響する遺伝子は多数存在する。従って、本稿では、これらの遺伝子を概日リズム関連遺伝子としてまとめた。

時計遺伝子へのアプローチ

突然変異により表れた表現型から、古典的メンデル遺伝に基づいた解析により遺伝子を同定することは、遺伝学の基本的手法である。これを Forward genetics と呼んでいる。一方、遺伝子工学や細胞工学の進歩に伴い、遺伝子を直接操作することができるようになり、遺伝子の働きや発現を変化させて表現型への影響を見ようとするいわゆる Reverse Genetics と呼ばれる手法が盛んに用いられるようになった。遺伝子ターゲットングやアンチセンス DNA 法などがこれに当たる。また、概日リズムの基本的性質である、周期の温度補償性、光による位相反応性、周期が約 24 時間で持続する自律性などは全ての生物に共通しているが、このような時計の生理学的相同性から、概日リズム発現の分子機構に相同性が存在するものと考え、今までにクローニングされた時計遺伝子との相同遺伝子を検索する試みが行われている。これら以外

にも、Differential Display 法により概日リズムを示す mRNA を検出し遺伝子にアプローチする方法などが行なわれている。

Forward Genetics

Forward Genetics はクラシックな手法であるが、最近、SSLP (simple sequence length polymorphism) などの DNA 多型マーカーが多数マッピング (マウスで約 8000 のマーカーがマッピングされている) され、また、マウスの種間・亜種間交配を利用して詳細な連鎖解析が可能になるなどの連鎖解析技術の進歩やポジショナルクローニング技術の進歩、さらに、マウスデータベースの充実などにより、ネオクラシックと呼ばれる様に Forward Genetics の進展には著しいものがある。Forward Genetics を用いた時計遺伝子へのアプローチは、まず、概日リズムの突然変異を見いだすことから始まるが、現在までに得られた突然変異遺伝子は、化学変異原物質 (ENU: N-エチル-N-ニトロソ尿素など) を用いて人為的に誘発したものと、自然発症したものとに分けることができる。前者には、マウスの *Clock* (2)、*Whl* (3) があり染色体上へのマッピングが完了している。*Clock* は半優性型の遺伝をし、ヘテロ接合体では周期が 24 時間より長く (野生型は 24 時間より短い)、ホモ接合体では最初 27-28 時間の極端に長い周期を示した後リズムが消失する。*Whl* も同様に半優性遺伝子で、周期が 24 時間より長くなる。また、この突然変異マウスは回転行動などの異常行動を示し、さらに光に対する反応性にも異常が認められる。自然発症した突然変異では、ハムスターで発見された *tau* 突然変異遺伝子がある (4)。これは哺乳類で最初に発見された概日リズム突然変異遺伝子で、野生型のハムスターの周期はほぼ 24 時間に近いが、この遺伝子をヘテロ接合体で持つと周期が 22 時間となり、ホモ接合体では 20 時間となる。*tau* 突然変異ハムスターは、概日リズムの生理機構解明のために利

用され成果をあげているが、マウスのような遺伝学的手法が使えないため、今のところ遺伝子クローニングなどへの研究の進展はない。

Forward Genetics を使ったもう一つのアプローチは、既存の系統を使った QTL (Quantitative trait locus) 解析である。QTL 法は、量的形質に関連する複数の遺伝子座をマッピングする方法として新しく登場した (5)。一般に、行動などの形質は複数の遺伝子が関与する量的形質としてとらえられるが、従来は、このような複数の遺伝子が関与する形質を遺伝子レベルで解析することが困難であった。しかし、最近の分子遺伝学的技術の向上に伴い、高密度な遺伝子地図が作出されたことやデータ処理における統計方法の改良などにより、マウスで QTL 解析を行うことが可能となった。QTL 解析を行った研究はまだわずかであるが、色々な系統を用いた QTL 解析により、時計遺伝子が存在する複数の候補遺伝子座領域が明らかになってくるであろう。本稿では、QTL 解析に必要な情報として概日リズムに関する遺伝的差について報告した論文も含めた。

Reverse Genetics

特定の遺伝子の機能を欠失させたり、過剰発現させたりして遺伝子の機能を個体レベルで解析しようとする Reverse Genetics は、遺伝子産物の生体内での機能を解析する有効な手段として広く用いられている。概日リズムに関しても、特定の遺伝子産物を欠失させるノックアウトマウスを用いた研究がいくつかの研究室で行なわれているが、発表されているものは多くない。この様なジーンターゲット法は、特定の機能分子の生体内での役割を探るうえで有効な手段となることは間違いないが、一方で、せっかく作っても他の遺伝子が機能を代償してしまうなどの理由で、表現型が野生型と変わらないこともよくあると言われている。高等動物の概日リズムに関しては、今のところ時計遺伝子

が分かっていないが、候補遺伝子が見つければ、原因遺伝子と見極めるために行う rescue 実験として重要である。

相同遺伝子の検索

今までにクローニングされている時計遺伝子は、ショウジョウバエの *per*、*timeless*、アラビドプシスの *toc* とアカパンカビの *frq*、シアノバクテリアの三つの ORF(D,E,F)であるが、これらの間には相同性が見られない。高等動物では、齧歯類において相同性遺伝子の検索を *per* 遺伝子について調べた報告がいくつかある。

振動体組織における時計関連遺伝子

脊椎動物の概日系は生物時計本体である振動体と、外界からの情報を振動体に伝える入力系、振動体の時間情報を様々な生理リズムに発現する出力系に分けることができる。振動体は、種によっても異なるが、一般に、網膜、松果体、視交差上核に存在すると言われている。本稿では、これらの組織について、概日リズムに関連する遺伝子や遺伝子発現などを扱ったものをそれぞれの機能分子ごとにまとめた。

文献

1. Okazaki Y, Okuizumi H, Ohsumi T, Nomura O, Takada S, Kamiya M, Sasaki N, Matsuda Y, Nishimura M, Tagaya O, Muramatsu M, Hayashizaki Y (1996) A genetic linkage map of the Syrian hamster and localization of cardiomyopathy locus on chromosome 9qa2.1-b1 using RLGS spot-mapping. *Nature Genetics* 13:87-90
2. Vitaterna MH, King DP, Chang A-M, Kornhauser JM, Lowrey PL, McDonald JD, Dove WF, Pinto LH, Turek FW, Takahashi JS (1994) Mutagenesis and mapping of a mouse gene, *Clock*, Essential

for circadian behavior. *Science* 264 :719-725

3. Pickard GE, Sollars PJ, Rinchik EM, Nolan PM, Bucan M (1995) Mutagenesis and behavioral screening for altered circadian activity identifies the mouse mutant, *Wheels*. *Brain Res* 705:255-266
4. Ralph MR and Menaker M (1988) A Mutation of the circadian system in golden hamsters. *Science* 241:1225-1227
5. Crabbe JC, Belknap JK, Buck KJ (1994) Genetic animal models of alcohol and drug abuse. *Science* 264:1715-1723

A Forward Genetics

1. 遺伝的差(系統差)

Mouse

1. Abe H, Kida M, Tsuji K, and Mano T (1989) Feeding cycles entrain circadian rhythms of locomotor activity in CS mice but not in C57BL/6J mice. *Physiol Behav* 45:397-401
2. Beau J (1988) Mise en evidence de correlats polygeniques des caracteristiques du rythme de l'activite chez un Mammifere: Etude de deux lignees de souris consanguines C57BL/6By et BALB/cBy. *C R Acad Sci* 307:37-40
3. Castellano CS, Puglisi-Allegra S, Renzi P, Oliverio A (1985) Genetic differences in daily rhythms of pain sensitivity in mice. *Pharmacol Biochem Behav* 23:91-92
4. Connolly MS, Lynch CB (1981) Circadian variation of strain differences in body temperature and activity in mice. *Physiol Behav* 27:1045-1049
5. Connolly MS, Lynch CB (1983) Classical genetic analysis of circadian body temperature rhythms in mice. *Behav*

- Genetics 13:491-500
6. Ebihara S, Tsuji K, Kondo K (1978) Strain differences of the mouse's free-running circadian rhythm in continuous darkness. *Physiol Behav* 20:795-799
 7. Ebihara S, Tsuji K (1976) Strain differences in the mouse's wheel-running behavior. *Japanese Psychological Research* 18:20-29
 8. Ebihara S, Tsuji K (1980) Entrainment of the circadian activity rhythm to the light cycle: effective light intensity for a Zeitgeber in the retinal degenerate C3H mouse and the normal C57BL mouse. *Physiol Behav* 24:523-527
 9. Ebihara S, Goto M, Oshima I (1988) The phase-shifting effects of pentobarbital on the circadian rhythm of locomotor activity in the mouse: strain differences. *Brain Res* 454:404-407
 10. Ebihara S, Goto M, Oshima I (1988) Different responses of the circadian system to GABA-active drugs in two strains of mice. *J Biol Rhythms* 3:357-364
 11. Gilliam DM, Collins A (1983) Circadian and genetic influences on tissue sensitivity and sleep time to ethanol in LS and SS mice. *Physiol Behav* 18:803-808
 12. Goto M, Oshima I, Tomita T, Ebihara S (1989) Melatonin content of the pineal gland in different mouse strains. *J Pineal Res* 7:195-204
 13. Goto M, Ebihara S (1990) The influence of different light intensities on pineal melatonin content in the retinal degenerate C3H mouse and the normal CBA mouse. *Neurosci Lett* 108:267-272
 14. Hotz MM, Connolly MS, Lynch CB (1987) Adaptation to daily meal-timing and its effect on circadian temperature rhythms in two inbred strain of mice. *Behav Genet* 17:37-51
 15. Kempf E, Mandel P, Oliverio A, Puglisi-Allegra S (1982) Circadian variations of noradrenaline, 5-hydroxytryptamine and dopamine in specific brain areas of C57BL/6 and BALB/c mice. *Brain Res* 232:472-478
 16. Lassalle JM, Le Pape G (1978) Locomotor activity of two inbred strains of mice in a seminatural and a breeding cage environment. *Behav Genet* 8:371-376
 17. Lucas LA, Eleftheriou BE (1980) Circadian variation in concentrations of testosterone in the plasma of male mice: A difference between BALB/cBy and C57BL/6By inbred strains. *J Endocrinol* 87:37-46
 18. Malorni W, Oliverio A, Bove D (1975) Analyse genetique du rythme d'activite circadien chez la Souris. *C.R.Acad.Sc.Paris* 281:1479-1484
 19. Peleg L, Nesbitt MN, Ashkenazi IE (1982) A strain difference in the daily rhythm of glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase activity in the mouse. *J Comp Physiol A* 148:137-142
 20. Possidente B, Hegmann JP (1980) Circadian complexes: Circadian rhythms under common gene control. *J Comp Physiol B* 139:121-125
 21. Possidente B, Hegmann JP (1982) Gene differences modify Aschoff's rule in mice. *Physiol Behav* 28:199-200
 22. Possidente B, Hegmann JP, Carlson L, Elder B (1982) Pigment mutations associated with altered circadian rhythms in mice. *Physiol Behav* 28:389-392
 23. Rosenwasser AM (1990) Circadian activity rhythms in BALB/c mice: A weakly-

- coupled circadian system? *J Interdiscipl Cycle Res* 21:91-96
24. Roussel B, Turrillot P, Kitahama K (1984) Effect of ambient temperature on the sleep-waking cycle in two strains of mice. *Brain Res* 294:67-73
 25. Schwartz WJ and Zimmerman P (1990) Circadian timekeeping in BALB/c and C57BL/6 inbred mouse strains. *J Neurosci* 10; 3685-3694
 26. Sothorn RB, Halberg F, Nelson W (1979) Strain-difference in circadian murine chronotolerance to the antidepressant drug nomifensine. *Chronobiologia* 6:397-404
 27. Symons JP (1973) Wheel-running activity during *ad lib* and food-deprivation conditions in four inbred mouse strains. *Bull Psychonom Soc* 1:78-80
 28. Tsuji K, Ebihara S, Ohkouchi O (1982) Strain differences in drinking and eating activities of the inbred mice. *Tohoku Psychologica Folia* 41:147-157
 29. Wax TM (1977) Effects of age, strain, and illumination intensity on activity and self-selection of light-dark schedules in mice. *J Comp Physiol Psychol* 91:51-62
- Rat**
30. Bauer MS (1990) Intensity and precision of circadian wheel running in three outbred rat strains. *Physiol Behav* 47:397-401
 31. Buttner D, Wollnik F (1984) Strain-differentiated circadian and ultradian rhythms in locomotor activity of the laboratory rat. *Behav Genet* 14:137-152
 32. Rosenwasser AM (1993) Circadian drinking rhythms in SHR and WKY rats: Effects of increasing light intensity. *Physiol Behav* 53:1035-1041
 33. Rosenwasser AM, Pellowski MW, Hendley ED (1996) Circadian timekeeping in hyperactive and hypertensive inbred rat strains. *Am J Physiol* 271:R787-796
34. Scheuch GC, Silver J (1982) Ontogeny of the suprachiasmatic nucleus in genetically anophthalmic mice: anatomical and behavioral studies. In *Melatonin Rhythm Generating System* (D.C.Klein ed.) pp 20-41, Karger, Basel.
 35. Webb SM, Champney TH, Lewinski AK, Reiter RJ (1985) Photoreceptor damage and eye pigmentation: Influence on sensitivity of rat pineal N-acetyltransferase activity and melatonin levels to light at night. *Neuroendocrinol* 40:205-209
- Hamster**
36. Pohl H (1983) Strain differences in responses of the circadian system to light in the Syrian hamster. *Experientia* 39:372-374
 37. Puchalski W, Lynch GR (1991) Circadian characteristics of Djungarian hamsters: Effects of photoperiodic pretreatment and artificial selection. *Am J Physiol* 261:R670-R676
- 2.QTL 解析**
38. Hofstetter JR, Mayeda AR, Possidente B, Nurnberger JI (1995) Quantitative trait loci (QTL) for circadian rhythms of locomotor activity in mice. *Behav Genetics* 25:545-556
 39. Mayeda AR, Hofstetter JR, Belknap JK, Nurnberger JI Jr (1996) Hypothetical quantitative trait loci (QTL) for circadian period of locomotor activity in CXB recombinant inbred strain. *Behav Genetics* 26:505-511

3.突然変異

TAU MUTANT HAMSTER

40. Biello SM and Mrosovsky N (1996) Phase response curves to neuropeptide Y in the wildtype and *tau* mutant hamsters. *J Biol Rhythms* 11:27-34
41. Grace MS, Wang LA, Pickard GE, Besharse JC, Menaker M (1996) The *tau* mutation shortens the period of rhythmic photoreceptor outer segment disk shedding in the hamster. *Brain Res* 735:93-100
42. Grosse J, Loudon ASI and Hastings MH (1995) Behavioural and cellular responses to light of the circadian system of *tau* mutant and wild-type syrian hamsters. *Neurosci* 65:587-597
43. Hurd MW, Zimmerman KA, Lehman MN, Ralph MR (1995) Circadian locomotor rhythms in aged hamsters following suprachiasmatic transplant. *Am J Physiol* 38: R958-R968
44. Menaker M and Rafinetti R (1993) The *tau* mutation in golden hamsters. In *Molecular Genetics of Biological Rhythms* (ed. M.Young) pp.255-269, Dekker, New York
45. Mrosovsky N, Salmon PA, Menaker M, and Ralph MR (1992) Non-photoc phase shifting in hamster clock mutants. *J Biol Rhythms* 7:41-49
46. Ralph MR, Foster RG, Davis FC, Menaker M (1990) Transplanted suprachiasmatic nucleus determines circadian period. *Science* 247:975-978
47. Ralph MR and Menaker M(1988) A mutation of the circadian system in golden hamsters. *Science* 241:1225-1227
48. Scarbrough K, Turek FW (1996) Quantitative differences in the circadian rhythm of locomotor activity and

vasopressin and vasoactive intestinal peptide gene expression in the suprachiasmatic nucleus of *tau* mutant compared to wildtype hamsters. *Brain Res* 736:251-259

49. Shimomura K, and Menaker M (1994) Light induced phase shifts in *tau* mutant hamsters. *J Biol Rhythms* 9:97-110
50. Stirling JA, Grosse J, Loudon ASI, Hastings MH, Maywood ES (1995) Gonadal responses of the male *tau* mutant syrian hamster to short-day-like programmed infusions of melatonin. *Biol of Reprod* 53:361-367
51. Stirling JA, Hastings MH, Loudon ASI, Maywood ES (1996) The *tau* mutation in the syrian hamster alters the photoperiodic responsiveness of the gonadal axis to melatonin signal frequency. *Endocrinol* 137:2183-2186

MOUSE *CLOCK* GENE

52. Florez JC, Takahashi JS (1995) The circadian clock - from molecules to behaviour. *Ann Med* 27:481-490
53. Menaker M, Takahashi JS (1995) Genetic analysis of the circadian system of mammals - properties and prospects. *Seminars in the Neurosciences* 7:61-70
54. Takahashi JS (1995) Molecular neurobiology and genetics of circadian rhythms in mammals. (Review) *Annu Rev of Neurosci* 18:531-553
55. Takahashi JS, Hoffman M (1995) Molecular biological clocks. *Am Sci* 83:158-165
56. Takahashi JS, Pinto LH, Vitaterna MH (1994) Forward and reverse genetic approaches to behavior in the mouse. *Science* 264 :1724-1733
57. Turek FW, Pinto LH, Vitaterna MH, Penev

PD, Zee PC, Takahashi JS (1995) Pharmacological and genetic approaches for the study of circadian rhythms in mammals. (Review) *Frontiers in Neuroendocrinology* 16:191-223

58. Vitaterna MH, King DP, Chang A-M, Kornhauser JM, Lowrey PL, McDonald JD, Dove WF, Pinto LH, Turek FW, Takahashi JS (1994) Mutagenesis and mapping of a mouse gene, *Clock*, Essential for circadian behavior. *Science* 264 :719-725

Other Genes

59. Norlan PM, Sollars PJ, Bohne BA, Ewens WJ, Pickard GE, Bucan M (1995) Heterozygosity mapping of partially congenic lines: Mapping of a semi-dominant neurological mutation, *wheels* (*Whl*), on mouse chromosome 4. *Genetics* 140:245-254
60. Pickard GE, Sollars PJ, Rinchik EM, Nolan PM, Bucan M (1995) Mutagenesis and behavioral screening for altered circadian activity identifies the mouse mutant, *Wheels*. *Brain Res* 705:255-266

B Reverse Genetics

1.トランスジェニック,ジーンターゲットイング

61. Groblewski TA, Nunez AA, Gold RM (1981) Circadian rhythms in vasopressin-deficient rats. *Brain Res Bull* 6:125-130
62. Honrado GI, Johnson RS, Golombek DA, Spiegelman BM, Papioannou VE, Ralph MR (1996) The circadian system of *c-fos* deficient mice. *J Comp Physiol A* 178:563-570
63. Lemmer B, Mattes A, Bohm M (1993) Circadian blood pressure variation in

transgenic hypertensive rats. *Hypertension* 22:97-101

64. Lemmer B, Witte K, Makabe T (1994) Effects of enalaprilat on circadian profiles in blood pressure and heart rate of spontaneously and transgenic hypertensive rats. *J Cardiovasc Pharm* 23:311-314
65. Sollars PJ, Ryan A, Pickard GE (1996) Altered circadian rhythmicity in the Wocko mouse, a hyperactive transgenic mutant. *Neuroreport* 7:1245-1248
66. Tober I, Gaus SE, Deboer T, Achermann P, Fischer M, Rütlicke T, Moser M, Oesch B, McBride PA & Manson JC (1996) Altered circadian activity rhythms and sleep in mice devoid of prion protein. *Nature* 380:639-642

2.アンチセンス核酸

67. Gannon RL, Rea MA (1994) *In situ* hybridization of antisense mRNA oligonucleotides for AMPA, NMDA and metabotropic glutamate receptor subtypes in the rat suprachiasmatic nucleus at different phases of the circadian cycle. *Mol Brain Res* 23:338-344
68. Scarbrough K, Harney JP, Rosewell KL, Wise PM (1996) Acute effect of antisense antagonism of a single peptide neurotransmitter in the circadian clock. *Mol Brain Res* 37:21-31
69. Wollnik F, Brysch W, Uhlmann E, Gillardon F, Bravo R, Zimmermann M, Schlingensiepen KH, Herdegen T (1995) Block of *c-Fos* and *JunB* expression by antisense oligonucleotides inhibits light-induced phase shifts of the mammalian circadian clock. *Eur J Neurosci* 7:388-393

C 相同遺伝子の検索

70. Beshlomo R, Ritte U, Nevo E (1996) Circadian rhythm and the per ACNGGN repeat in the mole rat, *Spalax Ehrenbergi*. Behav Genetics 26:177-184
71. Ishida N(1995) Molecular biological approach to the circadian clock mechanism. (Review) Neurosci Res 23:231-240
72. Ishida N, Matsui M, Nishimatsu SI, Murakami K, Mitsui Y (1994) Molecular cloning of a gene under control of the circadian clock and light in the rodent SCN. Mol Brain Res 26:197-206
73. Ishida N, Nishimatsu SI, Matsui M, Mitsui Y, Nohno T, Shibata N, Noji S (1994) Diurnal regulation of per repeat family in the suprachiasmatic nucleus of rat brain. Neurosci Biobehav Rev 18:571-577
74. Ishida N, Nishimatsu S, Saida K and Mitsui Y (1988) Mouse hexamer repeat sequences homologous to the Drosophila *period* gene. Nucleic Acid Res 16:3581
75. Ishida N, Noji S, Ono K, Koyama E, Nohono T, Taniguti S, Tokunaga A, Fujii T and Mitsui Y (1991) Diurnal regulation of per repeat mRNA in the suprachiasmatic nucleus in rat brain. Neurosci Lett 122:113-116
76. Matsui M, Mitsui Y, Ishida N (1993) Circadian regulation of per repeat mRNA in the suprachiasmatic nucleus of rat brain. Neurosci Lett 163:189-192
77. Rosewell KL, Siwicki KK, Wise PM (1994) A period (per)-like protein exhibits daily rhythmicity in the suprachiasmatic nuclei of the rat. Brain Res 659:231-236

D 振動体組織における時計関連遺伝子

PINEAL AND EYE

Photopigment

78. Argamaso SM, Froehlich AC, McCall MA, Nevo E, Provencio I, Foster RG (1995) Photopigments and circadian systems of vertebrates. Biophys Chem 56:3-11
79. Foster RG, Provencio I, Hudson D, Fisk S, De Grip W, Menaker M (1991) Circadian photoreception in the retinally degenerate mouse (*rd/rd*) J Comp Physiol A 169:39-50
80. Kawamura S, Yokoyama S (1996) Molecular characterization of the pigeon P-opsin gene. Gene 182:213-214
81. Max M, McKinnon PJ, Seidenman KJ, Barrett RK, Applebury ML, Takahashi JS, Margolskee RF (1995) Pineal opsin: A nonvisual opsin expressed in chick pineal. Science 267:1502-1506
82. Okano T, Yoshizawa T, Fukada Y (1994) Pinopsin is a chicken pineal photoreceptive molecule. Nature 372:94-97
83. Possidents B, Hegmann JP, Carlson L, Elder B (1982) Pigment mutations associated with altered circadian rhythms in mice. Physiol Behav 28:389-392
84. Provencio I, Foster RG (1995) Circadian rhythms in mice can be regulated by photoreceptors with cone-like characteristics. Brain Res 694:183-190
85. Yoshimura T, Ebihara S (1996) Spectral sensitivity of photoreceptors mediating phase-shifts of circadian rhythms in retinally degenerate CBA/J (*rd/rd*) and normal CBA/N(+/+) mice. J Comp Physiol A 178:797-802
86. Yoshimura T, Nishio M, Goto M, Ebihara S (1994) Differences in circadian photosensitivity between retinally degenerate

- CBA/J mice (*rd/rd*) and normal CBA/N mice (+/+). *J Biol Rhythms* 9:51-60
87. Vitaterna MH, Wu JC, Turek FK, Pinto LH (1993) Reduced light sensitivity of the circadian clock in a hypopigmented mouse mutant. *Exp Brain Res* 95:436-442
- CREM
88. Foulkes NS, Borjigin J, Snyder SH, Sassone-Corsi P (1996) Transcriptional control of circadian hormone synthesis via the CREM feedback loop. *Proc Natl Acad Sci USA* 93:14140-14145
89. Foulkes NS, Duval G, Sassone-Corsi P (1996) Adaptive inducibility of CREM as transcriptional memory of circadian rhythms. *Nature* 381:83-85
90. Lalli E, Lee JS, Lamas M, Tamai K, Zazopoulos E, Natel F, Penna L, Foukes NS, Sassone-Corsi P (1996) The nuclear response to cAMP: Role of transcription factor CREM. *Philosophical Transactions of the Royal Society of London B Biological Sciences* 351:201-209
91. Molina CA, Foulkes NS, Lalli E, Sassone-Corsi P (1993) Inducibility and negative autoregulation of CREM: An alternative promoter directs the expression of ICER, an early response repressor. *Cell* 75:875-886
92. Sassone-Corsi P (1994) Rhythmic transcription and autoregulatory loops: Winding up the biological clock. *Cell* 78:361-364
93. Stele JH, Foulkes NS, Molina CA, Simonneaux V, Pévet P, Sassone-Corsi P (1993) Adrenergic signals direct rhythmic expression of transcriptional repressor CREM in the pineal gland. *Nature* 365:314-320
94. Takahashi JS (1993) Circadian clocks à la CREM. *Nature* 365:299-300
- Fra-2
95. Balor R, Klein DC (1995) Circadian expression of transcription factor Fra-2 in the rat pineal gland. *J Biol Chem* 270:27319-27325
- Tryptophan Hydroxylase
96. Besancon R, Simonneaux V, Jouvet A, Belin MF, Fevre-Montange M, (1996) Nycthemeral expression of tryptophan hydroxylase mRNAs in the rat pineal gland. *Mol Brain Res* 40:136-138
97. Florez JC, Seidenman KJ, Barrett RK, Sangoram AM, Takahashi JS (1996) Molecular cloning of chick pineal tryptophan hydroxylase and circadian oscillation of its mRNA levels. *Mol Brain Res* 42:25-30
98. Florez JC, Takahashi JS (1996) Regulation of tryptophan hydroxylase by cyclic AMP, calcium, norepinephrine, and light in cultured chick pineal cells. *J Neurochem* 67:242-250
99. Green C, Besharse JC (1994) Tryptophan hydroxylase expression is regulated by a circadian clock in *Xenopus laevis* retina. *J Neurochem* 62:2420-2428
100. Green CB, Cahill GM, Besharse JC (1995) Regulation of tryptophan hydroxylase expression by a retinal circadian oscillator *in vitro*. *Brain Res* 677:283-290
101. Green CB and Besharse JC (1996) Tryptophan hydroxylase mRNA levels are regulated by the circadian clock, temperature, and cAMP in chick pineal cells. *Brain Res* 738:1-7
- Melatonin (NAT, Mel-R)
102. Bernard M, Klein DC, Zatz M (1997)

- Chick pineal clock regulates serotonin N-acetyltransferase mRNA rhythm in culture. *Proc Natl Acad Sci USA* 94:304-309
103. Borjigin J, Wang MM, Snyder SH (1995) Diurnal variation in mRNA encoding serotonin N-acetyltransferase in pineal gland. *Nature* 378:783-785
 104. Coon SL, Mazuruk K, Rodriguez IR (1996) The human serotonin N-acetyltransferase gene (AANAT): Structure, chromosomal localization, and tissue expression. *Genomics* 34:76-84
 105. Coon SL, Roseboom PH, Baler R, Weller JL, Namboodiri MAA, Koonin EV, Klein DC (1995) Pineal serotonin N-acetyltransferase: Expression cloning and molecular analysis. *Science* 270:1681-1683
 106. Ebihara S, Marks T, Hudson DJ, Menaker M (1986) Genetic control of melatonin synthesis in the pineal gland of the mouse. *Science* 231:491-493
 107. Ebisawa T, Deguchi T (1991) Structure and restriction fragment length polymorphism of genes for human liver arylamine N-acetyltransferases. *Biochem Biophysical Res Communicat* 177:1252-1257
 108. Ebisawa T, Sasaki Y, Deguchi T (1995) Complementary DNAs for two arylamine N-acetyltransferases with identical 5' non-coding regions from rat pineal gland. *Eur J Biochem* 228:129-137
 109. Ebisawa T, Suresh K, Michael R (1994) Expression cloning of a high-affinity melatonin receptor from *Xenopus* dermal melanophores. *Proc Natl Acad Sci USA* 91:6133-6137
 110. Goto M, Oshima I, Hasegawa M, Ebihara S (1994) The locus controlling pineal serotonin N-acetyltransferase activity (*Nat-2*) is located on mouse chromosome 11. *Mol Brain Res* 21:349-354
 111. Klein DC, Roseboom PH, Coon SL (1996) New light is shining on the melatonin rhythm enzyme: The first postcloning view. *Trends in endocrinol and metabolism* 7:106-112
 112. Masson-Pévet M, Bianchi L, Pévet P (1996) Circadian photic regulation of melatonin receptor density in rat suprachiasmatic nuclei: Comparison with light induction of fos-related protein. *J Neurosci Res* 43:632-637
 113. Maywood ES, Bittman EL, Ebling FJP, Barrett P, Morgan P, Hastings MH (1995) Regional distribution of iodomelatonin binding sites within the suprachiasmatic nucleus of the Syrian hamster and the Siberian hamster. *J Neuroendocrinol* 7:215-223
 114. Park HT, Beak SY, Kim BS, Kim JB, Kim JJ (1996) Development expression of 'RZR-beta, a putative nuclear-melatonin receptor' mRNA in the suprachiasmatic nucleus of the rat. *Neurosci Lett* 217:17-20
 115. Recio J, Pévet P, Masson-Pévet M (1996) Serotonergic modulation of photically induced increase in melatonin receptor density and Fos immunoreactivity in the suprachiasmatic nuclei of the rat. *J Neuroendocrinol* 8:839-845
 116. Reppert SM, Weaver DR, Ebisawa T (1994) Cloning and characterization of a mammalian melatonin receptor that mediates reproductive and circadian responses. *Neuron* 13:1177-1185
 117. Roca AL, Godson C, Weaver DR, Reppert

- SM (1996) Structure, characterization, and expression of the gene encoding the mouse Mel-1a melatonin receptor. *Endocrinol* 137:3469-3477
118. Roseboom PH, Coon SL, Baler R, McCune SK, Weller JL, Klein DC (1996) Melatonin synthesis: Analysis of the more than 150-fold nocturnal increase in serotonin N-acetyltransferase messenger ribonucleic acid in the rat pineal gland. *Endocrinol* 137:3033-3044
119. Slaugenhaupt SA, Roca AL, Liebert CM, Altherr MR, Gusella JF, Reppert SM (1995) Mapping of the gene for the Mel1a-melatonin receptor to human chromosome 4 (MTNR1a) and mouse chromosome 8 (Mtnr1a). *Genomics* 27:355-357
120. Weaver DR, Liu C, Reppert SM (1996) Natures knockout - The Mel (1b) receptor is not necessary for reproductive and circadian responses to melatonin in siberian hamsters. *Mol Endocrinol* 10:1478-1487
- その他
121. Gauer F, Kedzierski W, Craft CM (1995) Identifications of circadian gene expression in the rat pineal gland and retina by mRNA differential display. *Neurosci Lett* 187:69-73
122. Grechez-Cassiau A, Greve P, Guerlotte J, Collin JP, Voisin P (1995) Hydroxyindole-O-methyltransferase gene expression in the pineal gland of chicken embryo: Development of messenger RNA levels and regulation by serum. *Dev Brain Res* 88:204-211
123. Green CB and Besharse JC (1996) Use of a high stringency differential display screen for identification of retinal mRNAs that are regulated by a circadian clock. *Mol Brain Res* 37:157-165
124. Green CB, Besharse JC (1996) Identification of a novel vertebrate circadian clock-regulated gene encoding the protein nocturnin. *Proc Natl Acad Sci USA* 93:14884-14888
125. Tzavara ET, Pouille Y, Defer N, Hanoune J (1996) Diurnal variation of the adenylyl cyclase type I in the rat pineal gland. *Proc Natl Acad Sci USA* 93:11208-11212
- SUPRACHIASMATIC NUCLEUS**
- CREM**
126. Ginty DD, Kornhauser JM, Thompson MA, Bading H, Mayo KE, Takahashi JS, Greenberg ME (1993) Regulation of CREB phosphorylation in the suprachiasmatic nucleus by light and a circadian clock. *Science* 260:238-241
127. Stehle JH, Pfeffer M, Kuehn R, Korf HW (1996) Light-induced expression of transcription factor ICER (inducible cAMP early repressor) in rat suprachiasmatic nucleus in phase-restricted. *Neurosci Lett* 217:169-172
- FOS,JUN**
128. Abe H, Honma S, Shinohara K, Honma KI (1996) Substance P receptor regulates the photic induction of fos-related protein in the suprachiasmatic nucleus of the Syrian hamster. *Brain Res* 708:135-142
129. Abe H, Honma S, Shinohara K, Honma KI (1995) Circadian modulation in photic induction of Fos-like immunoreactivity in the suprachiasmatic nucleus cells of diurnal chipmunk, *Eutamias asiaticus*. *J Comp Physiol A* 176:159-167
130. Abe H, Rusak B, Robertson HA (1991)

- Photic induction of Fos protein in the suprachiasmatic nucleus is inhibited by the NMDA receptor antagonist MK-801. *Neurosci Lett* 127:9-12
131. Abe H, Rusak B, Robertson HA (1992) NMDA and non-NMDA receptor antagonists inhibit photic induction of Fos protein in the hamster suprachiasmatic nucleus. *Brain Res Bull* 28:831-835
 132. Bennett MR, Aronin N, Schwartz WJ (1996) *In vitro* stimulation of *c-fos* protein expression in the suprachiasmatic nucleus of hypothalamic slices. *Mol Brain Res* 42:140-144
 133. Boissin-Agasse L, Blanchard JM, Escot C, Fuminier F, Roch G, Boissin J (1996) Photic regulation of *c-fos* gene expression in the suprachiasmatic nucleus and the circadian rhythm of photosensitivity in the mink. *Mol Brain Res* 37:21-31
 134. Cai AH, Wise PM (1996) Age-related changes in light-induced jun-B and jun-D expression- Effects of transplantation of fetal tissue containing the suprachiasmatic nucleus. *J Biol Rhythms* 11:284-290
 135. Earnest DJ, Iadarola M, Yeh HH, Olschowka JA (1990) Photic regulation of *c-fos* expression in neural components governing the entrainment of circadian rhythms. *Exp Neurol* 109:353-361
 136. Guido ME, Goguen D, Robertson HA, Rusak B (1996) Spontaneous and light-evoked expression of JunB-like protein in the hamster suprachiasmatic nucleus near subjective dawn. *Neurosci Lett* 217:9-12
 137. Guido ME, Rusak B, Robertson HA (1996) Spontaneous circadian and light-induced expression of JunB mRNA in the hamster suprachiasmatic nucleus. *Brain Res* 732:215-222
 138. Kako K, Wakamatsu H, Ishida N (1996) *c-fos* CRE-binding activity of CREB/ATF family in the SCN is regulated by light but not a circadian clock. *Neurosci Lett* 216:159-162
 139. Kornhauser JM, Nelson DE, Mayo KE, Takahashi JS (1990) Photic and circadian regulation of *c-fos* gene expression in the hamster suprachiasmatic nucleus. *Neuron* 5:127-134
 140. Kornhauser JM, Nelson DE, Mayo KE, Takahashi JS (1992) Regulation of jun-B messenger RNA and AP-1 activity by light and a circadian clock. *Science* 255:1581-1584
 141. Kornhauser JM, Mayo KE, Takahashi JS (1996) Light, immediate-early genes, and circadian rhythms (Review) *Behav Genetics* 26:221-240
 142. Leard LE, MacDonald ES, Heller HC, Kilduff TS (1994) Ontogeny of photic-induced *c-fos* expression in the rat suprachiasmatic nuclei. *Neuroreport* 5:2683-2687
 143. Menegazzi M, Carcereri De-Prati A, Grassi-Zucconi G (1994) Differential expression pattern of jun B and c-jun in the rat brain during the 24-h cycle. *Neurosci Lett* 182:295-298
 144. Peters RV, Aronin N, Schwartz WJ (1994) Circadian regulation of Fos B is different from c-Fos in the rat suprachiasmatic nucleus. *Mol Brain Res* 27:243-248
 145. Rusak B, Robertson L, Wisden W, and Hunt SP (1990) Light pulses that shift rhythms induce gene expression in the suprachiasmatic nucleus. *Science* 248:1237-1240

146. Rusak B, McNaughton L, Robertson HA, Hunt SP (1992) Circadian variation in photic regulation of immediate-early gene mRNA in rat suprachiasmatic nucleus cells. *Mol Brain Res* 14:124-130
147. Sanabria ERG, Scorza FA, Bortolotto ZA, Calderazzo LS, Cavalheiro EA (1996) Disruption of light-induced *c-fos* immunoreactivity in the suprachiasmatic nuclei of chronic epileptic rats. *Neurosci Lett* 216:105-108
148. Shiromani PJ, Schwartz WJ (1995) Towards a molecular biology of the circadian clock and sleep of mammals. *Adv Neuroimmunol* 5:217-230
149. Silver R, Romero MT, Besmer HR, Leak R, Nunez JM, Lesauter J (1996) Calbindin-D-28K cells in the hamster SCN express light-induced fos. *Neuroreport* 7:1224-1228
150. Takeuchi J, Shannon W, Aronin N, Schwartz WJ (1993) Compositional change of AP-1 DNA-binding proteins are regulated by light in a mammalian circadian clock. *Neuron* 11:825-836
151. Travnickova Z, Sumova A, Peters R, Schwartz WJ, Illnerova H (1996) Photo-period-dependent correlation between light-induced SCN *c-fos* expression and resetting of circadian phase. *Am J Physiol* 40:R825-R831
152. Weaver DR, Roca AL, Reppert SM (1995) *c-fos* and jun-B mRNA are transiently expressed in fetal rodent suprachiasmatic nucleus following dopaminergic stimulation. *Dev Brain Res* 85:293-297
153. Weaver DR, Rivkees SA, Reppert SM (1992) D-1 dopamine receptors activate *c-fos* expression in the fetal suprachiasmatic nuclei. *Proc Natl Acad Sci USA* 89:9201-9204
154. Weber ET, Gannon RL, Michel AM, Gillette MU, Rea MA (1995) Nitric oxide synthase inhibitor blocks light-induced phase shifts of the circadian activity rhythm, but not *c-fos* expression in the suprachiasmatic nucleus of the Syrian hamster. *Brain Res* 692:137-142
- Peptide etc.
155. Bult A, Hiestand L, Van der Zee EA, Lynch CB (1993) Circadian rhythms differ between selected mouse lines: a model to study the role of vasopressin neurons in the suprachiasmatic nucleus. *Brain Res Bull* 32:623-627
156. Cagampang FRA, Yang J, Nakayama Y, Fukuhara C, Inouye ST (1994) Circadian variation of arginine-vasopressin messenger RNA in the rat suprachiasmatic nucleus. *Mol Brain Res* 24:179-184
157. Cagampang FRA, Rattray M, Powell JF, Campbell IC, Coen CW (1996) Circadian changes of glutamate decarboxylases 65 and 67 mRNA in the rat suprachiasmatic nuclei. *Neuroreport* 7:1925-1928
158. Cagampang FRA, Rattray M, Powell JF, Chong NWS, Campbell IC, Coen CW (1996) Circadian variation of EAAC1 glutamate transporter messenger RNA in the rat suprachiasmatic nuclei. *Mol Brain Res* 35:190-196
159. Carter DA, Murphy D (1992) Nuclear mechanisms mediate rhythmic changes in vasopressin mRNA expression in the rat suprachiasmatic nucleus. *Mol Brain Res* 12:315-321
160. Chen G, van den Pol AN (1996) Multiple NPY receptors coexist in pre- and postsynaptic sites-inhibition of GABA

- release in isolated self-innervating SCN neurons. *J Neurosci* 16:7711-7724
161. Chong NWS, Cagampang FRA, Coen CW, Campbell IC, Powell JF (1996) Rapid identification of novel genes expressed in a circadian manner in rat suprachiasmatic nuclei. *Neuroreport* 7:1199-1203
162. Denis P, Dussailant M, Nordmann JP, Berod A, Saraux H, Rostene W (1993) Vasoactive intestinal peptide/peptide histidine isoleucine mRNA in the eye and suprachiasmatic nucleus of normal and monocularly enucleated rats. *Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology* 231:541-545
163. Duncan MJ, Cheng X, Heller KS (1995) Photoperiodic exposure and time of day modulate the expression of arginine vasopressin mRNA and vasoactive intestinal peptide mRNA in the suprachiasmatic nuclei of Siberian hamsters. *Mol Brain Res* 32:181-186
164. Gannon RL, Rea MA (1994) *In situ* hybridization of antisense mRNA oligonucleotides for AMPA, NMDA and metabotropic glutamate receptor subtypes in the rat suprachiasmatic nucleus at different phases of the circadian cycle. *Mol Brain Res* 23:338-344
165. Gao B, Moore RY (1996) Glutamic acid decarboxylase message isoforms in human suprachiasmatic nucleus. *J Biol Rhythms* 11:172-179
166. Glazer R, Gozes I (1994) Diurnal oscillation in vasoactive intestinal peptide gene expression independent of environmental light entraining. *Brain Res* 644:164-167
167. Inatomi T (1994) Expression of aromatic L-amino acid decarboxylase in the rat suprachiasmatic nucleus: Immunocytochemistry and *in situ* hybridization study. *Nippon Ganka Gakkai Zasshi* 98:749-759
168. Ishida N, Matsui M, Mitsui Y, Mishina M (1994) Circadian expression of NMDA receptor mRNAs, epsilon-3 and zeta-1, in the suprachiasmatic nucleus of rat brain. *Neurosci Lett* 166:211-215
169. Kawakami F, Okamura H, Tamada Y, Nakajima T, Iyata Y (1995) Changes in vasoactive intestinal peptide mRNA levels in the rat suprachiasmatic nucleus following p-chlorophenylalanine (PCPA) treatment under light/dark conditions. *Neurosci Lett* 200:171-174
170. Larsen PJ, Vrang N, Moller M, Jessop DS, Lightman SL, Chowdrey HS, Mikkelsen JD (1994) The diurnal expression of genes encoding vasopressin and vasoactive intestinal peptide within the rat suprachiasmatic nucleus is influenced by circulating glucocorticoids. *Mol Brain Res* 27:342-346
171. Mikkelsen JD, Larsen PJ (1993) Substance P in the suprachiasmatic nucleus of the rat: An immunohistochemical and *in situ* hybridization study. *Histochemistry* 100:3-16
172. Mikkelesen JD, Larsen PJ, Ebling FJP (1993) Distribution of N-methyl D aspartate (NMDA) receptor mRNA in the rat suprachiasmatic nucleus. *Brain Res* 632:329-333
173. Nishiwaki T, Okamura H, Kanemasa K, Inatomi T, Iyata Y, Fukuhara C, Inouye ST (1995) Differences of somatostatin mRNA in the rat suprachiasmatic nucleus under light-dark and constant conditions: An

- analysis by *in situ* hybridization. *Neurosci Lett* 197:231-234
174. Obrietan K, van den Pol AN (1996) Neuropeptide Y depresses GABA-mediated calcium transients in developing suprachiasmatic nucleus neurons: a novel form of calcium long-term depression. *J Neurosci* 16:3521-3533
 175. O'Hara BF, Andretic R, Heller HC, Carter DB, Kilduff TS (1995) GABA-A, GABA-c, and NMDA receptor subunit expression in the suprachiasmatic nucleus and other brain regions. *Mol Brain Res* 28:239-250
 176. Okamura H, Tanaka M, Kanemasa K, Ban Y, Inouye ST, Ibata Y (1995) *In situ* hybridization of *vgf* mRNA in the rat suprachiasmatic nucleus: Co-localization with vasopressin/neurophysin and VIP/PHI. *Neurosci Lett* 189:181-184
 177. Okamura H, Kawakami F, Tamada Y, Geffard M, Nishiwaki T, Ibata Y, Inouye ST (1995) Circadian change of VIP mRNA in the rat suprachiasmatic nucleus following p-chlorophenylalanine (PCPA) treatment in constant darkness. *Mol Brain Res* 29:358-364
 178. Okamura H, Tanaka M, Kanemasa K, Ban Y, Inouye ST, Ibata Y, (1994) *In situ* hybridization histochemistry of *vghmlf* mRNA in the rat suprachiasmatic nucleus: Co-localization with vasopressin/neurophysin and VIP/PHI. *Neurosci Lett* 182:181-184
 179. Peters RV, Zoeller RT, Hennessey AC, Stopa EG, Anderson G, Albers HE (1994) The control of circadian rhythms and the levels of vasoactive intestinal peptide mRNA in the suprachiasmatic nucleus are altered in spontaneously hypertensive rats. *Brain Res* 639:217-227
 180. Rivkees SA, Kelley MR (1994) Expression of a multifunctional DNA repair enzyme gene, apurinic/apyrimidinic endonuclease (APE; Ref-1) in the suprachiasmatic, supraoptic and paraventricular nuclei. *Brain Res* 666:137-142
 181. Rivkees SA, Weaver DR, Reppert SM (1993) Circadian and developmental regulation of Oct-2 gene expression in the suprachiasmatic nuclei. *Brain Res* 598:332-336
 182. Shinohara K, Honma S, Katsuno Y, Abe H, Honma K (1995) Two distinct oscillators in the rat suprachiasmatic nucleus in vitro. *Proc Natl Acad Sci USA* 92:7396-7400
 183. Shinohara K, Inouye ST (1995) Photic information coded by vasoactive intestinal polypeptide and neuropeptide Y. *Neurosci Biobehav Rev* 19:349-352
 184. Sollars PJ, Pickard GE (1995) Vasoactive intestinal peptide efferent projections of the suprachiasmatic nucleus in anterior hypothalamic transplants: correlation with functional restoration of circadian behavior. *Exp Neurol* 136:1-11
 185. Tanaka M, Okamura H, Matsuda T, Shigeyoshi Y, Hisa Y, Chihara K, Ibata Y (1996) Somatostatin neurons form a distinct peptidergic neuronal group in the rat suprachiasmatic nucleus: A double labeling *in situ* hybridization study. *Neurosci Lett* 215:119-122
 186. Takeuchi J, Nagasaki H, Shinohara K, Inouye ST (1992) A circadian rhythm of somatostatin messenger RNA levels, but not of vasoactive intestinal polypeptide-histidine isoleucine messenger RNA levels in rat suprachiasmatic nucleus.

Mol Brain Res 3:29-35

187. Tessonneaud A, Bonnefond C, Monnerie R, Viguier-Martinez MC (1995) Distribution of arginine-vasopressin and vasoactive intestinal peptide messenger RNA in the suprachiasmatic nucleus of the sheep. *Neurosci Lett* 191:5-8
188. Uhl GR, Reppert SM (1986) Suprachiasmatic nucleus vasopressin messenger RNA: circadian variation in normal and Brattleboro rats. *Science* 232: 390-393
189. Yang J, Cagampang FRA, Nakayama Y, Inouye ST (1993) Vasoactive intestinal polypeptide precursor mRNA exhibits diurnal variation in the rat suprachiasmatic nuclei. *Mol Brain Res* 20:259-262
190. Yang-Jing, InouyeST (1995) Studies on circadian rhythms of SS and VIP mRNA in rat suprachiasmatic nucleus. *Acta Zoologica Sinica* 41:322-326
191. Yang J, Tominaga K, Otori Y, Fukuhara C, Tokumasu A, Inouye ST (1994) Day-night variation of preprosomatostatin messenger RNA level in the suprachiasmatic nucleus. *Mol Cell Neurosci* 5:97-102
192. Zoeller RT, Broyles B, Earley J, Anderson ER, Albers HE (1992) Cellular levels of messenger ribonucleic acids encoding vasoactive intestinal peptide and gastrin-releasing peptide in neurons of the suprachiasmatic nucleus exhibit distinct 24-hour rhythms. *J Neuroendocrinol* 4: 119-124